



参議院議員全国比例区

おすく 大島九州男



後援会事務所

福岡県直方市感田 1466-3
電話0949-28-8162

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館910号室
電話03-6550-0910
kusuo_ooshima02@sangiin.go.jp



新春のごあいさつ



大島九州男

新年あけましておめでとうござい
ます。昨年は参議院議員選挙をは
じめ民進党に多大なるご支援を賜
り、心から御礼と感謝を申し上げま
す。

「皆様の生活の声を国政に届け
る」という初心を忘れず、微力では
ございますが、全力を尽くす所存で
す。

2017年も皆様から変わらぬ
ご支援ご教示を頂ければこれ以上
の幸せはありません。

第192回臨時国会報告

9月26日に召集されました第192回臨時
国会は、2度にわたる会期延長が行われ、
先月17日、83日間の会期を終えました。
TPP(環太平洋経済連携協定)の承
認・関連法案、年金制度改革法案、カジノ
解禁を含む統合型リゾート施設を整備す
る法案等が成立しました。

民進党は、村田蓮舫参議院議員を新代表
に選び、これらの与野党対決の法案に対し
ては毅然とした対応を行いました。が、圧倒
的な議席数を誇る与党等の「数の力」に対
抗することができませんでした。

私が所属する文教科学委員会では、教育
公務員特例法の改正案(教育委員会等の任
命権者が文部科学大臣が定めた指針を参
酌しつつ公立学校の校長と教員の資質向
上のための指標とそれを踏まえた教員研
修計画を定めること等について定める)、
教育機会確保法(フリースクールで学ぶ不
登校の児童や生徒等を支援するため、基本
方針の策定・国や地方公共団体が不登校の
児童生徒やその保護者に対する情報の提
供や相談体制の整備などの支援を行うこ
と、教職員や心理、福祉の専門的知識を有
する者等の関係者間の情報共有の促進・地
方公共団体が義務教育を受けられなかつ
た人等に夜間中学に通う機会を提供する
措置を講ずること等)について定める)がそ
れぞれ成立しました。

激しい論戦が控える第193回通常国会 変動を予感する2017年

安倍政権は発足4年を経過しましたが、アベノ
ミクスの恩恵は一部の大手企業のみで、多くの中
小・零細、地場産業には波及しておらず、「給付削
減・負担増」の財政・経済政策は改まることはな
くもはや限界にきています。

今月20日召集見通しの通常国会では、こうした
安倍政権の財政経済政策の基本姿勢をはじめ、労
働時間ではなくて「成果で賃金を決める仕組み」
を作る労働基準法の改正案、天皇陛下の退位等を
検討する皇室典範の改正、憲法審査会等、与野党
の激しい論戦が控えています。

一方、世界に眼を向ければ、今月20日にトラン
プ氏が米国大統領に就任するのをはじめ、フラン
スでは大統領と下院議会選挙、ドイツでも下院議
会選挙が行われる他、英国のEU離脱の手続きが
本格化します。

また、87年ブラ
ックマンデー、97
年アジア通貨危
機、07年サブプラ
イム問題と10年ご
とに深刻な経済・
金融危機が繰り返
し発生しているこ
とも気に掛かり、
17年は内外とも大
きく「変動」を予
感する年になりそ
うです。



日大先輩から花押贈呈

来年度当初予算案等の閣議決定

来年度の当初予算案や今年度の第3次補正予算案等を審議する第193回通常国会は今月20日召集で調整が進められています。

先般、閣議決定された来年度の当初予算案は、一般会計の総額が97兆4547億円と5年連続して過去最大の額となりました。

高齢者医療費の負担増！

このうち、歳出では、予算全体の3分の1を占め最大の歳出項目である社会保障費がこれまで最も多い32兆4735億円に膨らみます。

政府は、社会保障費の抑制策として、医療や介護で、一定の所得がある高齢者の負担を増やす制度の見直しに踏み切りましたが、社会保障費の増加に歯止めはかかっていません。

毎月の医療費の自己負担に上限を設ける「高額療養費制度」を見直し、70歳以上の人のうち年収が370万円未満で住民税が課税される人の外来の上限額を現在の1万2000円から今年8月に1万4000円、来年8月以降は1万8000円と2段階で引き上げます。

また、年収が370万円以上ある人の自己負担の上限額についても、現役世代と同じ水準に引き上げます。

更に、75歳以上の人が加入する「後期高齢者医療制度」を見直し、専業主婦等の保険料を軽減している特例を、来年度から段階的に縮小する他、40歳から64歳の人が支払う介護保険料についても、健康保険組合等の加入者の数で頭割りする今の仕組みから、収入に応じて負担額を決める「総報酬割」に段階的に切り替え、大企業の会社員や公務員の保険料を高くします。

給付型奨学金創設！ 科学技術予算案の増加！

文化、教育、科学技術関連予算は13億円減少したものの5兆3567億円が計上されています。

このうち、経済的な理由で大学などへの進学を断念する学生を減らそうと、返済のいらぬ「給付型奨学金」を創設するための費用として70億円が計上されました。本格的な実施は再来年度からですが、来年度は私立大学に通う下宿生等、特に経済的に厳しい学生を対象に最大で月額4万円が給付されます。

また、科学技術関連は、経済成長につながる研究開発を支援するため116億円増え1兆3045億円となりました。

一方、地方自治体に配分する「地方交付税」は、今年度当初よりも2860億円多い15兆5671億円となりました。

「アベノミクス」でも 増え続ける「国の借金」

こうした高齢者医療費の負担増の制度改正にも関わらず、政府は、来年度も社会保障費とほぼ同じ規模となる34兆円余の国債を新たに発行し、来年度末の国債の発行残高は865兆円程度まで増える見通しです。

政府は、社会保障や公共事業等、政策にあてる経費を借金に頼らず税金等でどれだけまかなえているかを示す「基礎的財政収支」を財政健全化の指標としていて、政府は2020年度に国と地方を合わせて黒字化することを目標としています。

しかし、来年度予算案での「基礎的財政収支」は、歳出が増える一方で税金の伸びが鈍化するため10兆8413億円の赤字となり、一段の収支の改善を迫られる厳しい財政状況が続く、財政再建の道のりは一段と険しくなっています。

TOPICS
トピックス

私学の児童生徒への経済的支援を創設（12億円）

文科委員会において文科大臣及び財務大臣政務官に対し要請する等、以前から大島九州男が取り組んでおり、今回5年間の実証事業として創設されました。

内容は、年収400万円未満の世帯に属する児童生徒について、年額10万円の授業料負担の軽減を行うつつ、義務教育において私立学校を選択している理由や家庭の経済状況などについて実態把握のための調査を行います。平成29年～33年にかけて、全学年において実施します。



↓ 仏教議連

↑ 政調文科部会



← 水俣病60周年
院内集会

今年「西年」です。

由来は「物事が頂点まで熟した状態」と言われています。学問やビジネス、趣味等、皆様が取り組まれていることで何らかの成果が出るにふさわしい年かもしれません。

結びに、皆様の更なるご健勝とご発展を心から祈念致します。以上